

素材にこだわることで環境への負担を軽減

日本は国土の約3分の2が森林です。オリバーでは世界の森林資源を守るため、適切に管理されたFSC®認証材の使用に徹するとともに、国産材の利用を促進する「木づかい運動」に賛同し、日本林業の活性化に取り組んでいます。

その他、リサイクル材の再利用や、植物由来のウレタンフォームの使用など素材にこだわることで、環境保全に取り組んでいます。



製造工程の見直し

人と環境にやさしい家具をつくるためには、そのプロセスへの配慮もとても大切です。オリバーでは、使う人はもちろん、つくる人にも害を与えない、環境にも負荷がかからないよう製造工程を常に見直しています。

さらに、製品一つひとつに資源リサイクルを促進できる工夫も凝らされています。



有害な溶剤やガスを使用しない

製造段階において、大気汚染など環境に負荷をかけず、人体に影響のない溶剤などを使用しています。



ノンフロンの発泡剤を使用



有機溶剤を使用していない粉体塗装

再利用や分別をスムーズにする

資源リサイクルの効率化を促進し、高めるために、素材ごとに分解できる分別設計や各部品に材質名の表示を行っています。



廃棄時の分別を容易にする分別設計



樹脂部品には材質を表示

製品のロングライフ化を図る

環境保全に配慮したモノづくりは、企業活動における命題となりました。

オリバーでは、木製チェアの新設計ガイドラインを策定し、

その基準を満たしたうえで新しい強度基準の追加・実施など、万全の品質管理体制を整えています。

また、部品交換やカバーリング機能により、できるかぎり長く、安心・安全に使える家具づくりに取り組んでいます。

